

浜松オプトロニクスクラスター

世界に通じるオプトエレクトロニクス産業の「知」と「技」の一大集積拠点を形成し、本産業を浜松地域の新たな産業の柱にします。

概要

次世代の産業・医療を支える「超視覚イメージング技術」に焦点をあて、地域の大学を中心とする先端技術シーズと本地域特有の応用製造技術や製品・技術開発力を結集して、イメージングデバイスやイメージングシステムの中核研究及び応用技術の研究等を重点的に推進し、新事業や新産業及び新規雇用を地域に創出します。当地域では、地域外企業の積極的な参画も促すとともに、光技術関連産業集積促進特区による規制緩和も活かして、国内外から研究者及び研究機関・先端企業の集積化も図ります。

クラスター本部体制

- 本部長……………石村 和清(財団法人 浜松地域テクノポリス推進機構理事長、浜松商工会議所副会頭)
- 事業総括……………柴田 義文
- 研究統括……………安藤 隆男(静岡大学名誉教授)
- 科学技術コーディネータ
鹿島 俊弘
奥村 隆俊
土屋 裕

中核機関

財団法人 浜松地域テクノポリス推進機構

参加研究機関

(太字は核となる研究機関)

産…アルパイン(株)、池上通信機(株)、イノテック(株)、NECピューテクノロジー(株)、オリンパス(株)、三栄ハイテックス(株)、ジーマ(株)、シャープ(株)、スズキ(株)、ナルテック(株)、(株)ニコン、(株)日本コンピュータ、(株)パナソニックモバイル静岡研究所、浜松ホトニクス(株)、パルステック工業(株)、(株)フォトン、富士写真光機(株)、本多電子(株)、(株)山武、ヤマハ(株)、横河電機(株)

学…**静岡大学電子工学研究所**、工学部、情報学部、**イノベーション共同研究センター**
浜松医科大学量子医学研究センター、医学部

事業総括

柴田 義文



前 浜松商工会議所副会頭
三遠南信バイタルイノベーション協議会会長(現在)

光技術を核とした地域クラスターの創成

浜松地域では、「光技術」を重点技術分野の一つとして光技術関連産業集積促進特区の指定を受けるなど、様々な産学連携によるプロジェクトが推進されています。その一つが知的クラスター創成事業です。光技術の中でも知的クラスター創成事業では「超視覚イメージング技術」、他のプロジェクトでは「高出力レーザー技術」等をテーマに産学共同研究などが盛んに進められております。

上記の事業はいずれも地域クラスター創成のための事業ですが、より一層成果を上げるためには、事業をマネジメントしているコーディネータ間の連携強化が必要であると感じています。それには形式だけの連携ではなく、それぞれの事業における守秘義務を遵守しつつギリギリのところまで深く議論することが必要だと感じており、これを推進することも今後のわたし自身の任務であると思っています。

また、知的クラスター創成事業における事業化戦略の一つとして、イメージング技術事業化研究会を発足いたしました。本研究会には、浜松地域を中心とした静岡県内の企業で、現在イメージング技術に関連した事業に取り組んでいるか否かに関係なく、新たな事業等に挑戦する「やる気」のある企業が多数参画しております。研究会では、参画企業のニーズを汲みながら各種事業を推進しています。この研究会参加企業から一日でも早く新事業・新製品が創られることを目指し、日々奮闘していきます。

産学官による共同研究のあらまし

本事業では、①車社会の到来に伴う、人身事故の低減や快適なクルージング、②医療分野での的確な診断と苦痛の少ない疾患治療、③高度なセキュリティ環境による日常生活での安全確保 等に役立つ「賢く撮ってやさしくみせる技術」の基盤技術を開発します。

具体的には、

- これまで実現し得なかった広いダイナミックレンジと必要な画像情報のみを効率よく取得することができるスマートイメージングなどを特長とした自動車をはじめとする産業用及び医療用の次世代イメージングデバイス
- 今後の高度医療・診断等を支える高い機能をもつ顕微鏡システムや内視鏡、または脳手術支援システム、さらには、医学診断等に不可欠な色を忠実に再現することができるイメージングシステム
- 非破壊検査やX線CT向けの高いエネルギーの放射線に対応したカメラデバイス等を産学官の共同研究により開発します。

快適な社会生活を支える 「賢く撮ってやさしくみせる技術」

<産業応用例>

